

健康ウオツチング

東陽病院 院長 伊藤 文憲

腎臓の病気(Ⅰ)

横芝町の皆さん今日は。今

回は今までの消化器病から離れますが、体の背中側にある臓器で、前月に述べた五臓のひとつであり、重要な臓器である腎臓についてのお話をします。

腎臓は体の背中側に左右一対あります。腎不全に対する治療法として行われる生体腎臓移植でご承知のように、ひとつになっても機能が低下しないように余裕があります。腎臓は血液の中から体に不要で有害な老廃物を体外に出すのが主たる仕事です。ネフロンという組織が左右の腎臓の中にそれぞれ百万個もあります。ネフロンは腎臓の中の毛細血管の塊である糸球体とそれに連なる尿細管から構成されます。糸球体で血液をろ過し、尿細管で蛋白質やナトリウム・カリウム等の電解質を

再吸収して、体の中の状態を一定に保つように調節しています。

ネフロンで作られた尿は腎臓の中心の腎盂に集まり、左右の尿管を介して膀胱に貯まります。腎盂から尿管・膀胱の病気は内科よりも泌尿器科の方が専門になります。腎結石や膀胱癌、前立腺肥大症や前立腺癌等の病気です。

糸球体の働きは老廃物のろ過が主体ですが、稀な病気としては多量の蛋白質が糸球体から尿に出てしまい、そのために体の中の蛋白質が低下して全身の浮腫や胸水・腹水等が貯留する病気があります。ネフローゼ症候群という病気です。細菌感染や免疫異常により糸球体に変化が生じるもので、ステロイドホルモンや免疫抑制剤等による治療を行います。治療に抵抗する場合もあり難病のひとつです。腎炎は糸球体に異常が生じ

て、そのろ過機能が低下するのが病気の本体です。急性腎炎は、小児期に風邪の症状に続いて倦怠感・血尿・蛋白尿や全身の浮腫などで発症します。急性期が過ぎて治癒する例が多いのですが、無症状のまま炎症が持続する例では、数十年という長い期間をかけて徐々に進行し、慢性腎炎から慢性腎不全になってまいります。この間は自覚症状が軽度ですので、健康診断などで蛋白尿・血尿・血清クレアチニン高値などの腎障害を指摘された場合は、精密検査を行い定期的に通院して腎機能をチェックし、その進行を抑えることが重要です。急性腎炎は以前は細菌感染に続いて発症するとされていましたが、環境の改善などにより、細菌関連の腎臓病は減少しています。しかし、生活習慣病の代表である高血圧や糖尿病でコントロールが悪いと、糸球体の細かい血管が動脈硬化を起こしてろ過機能が低下し腎障害がおきます。進行すると慢性腎不全になります。最近では、糖尿病関連の腎不全の増加が著名です。

文芸

俳句

風琴み湖上を泳ぐ鯉のぼり
白雲の軽く流れて風薫る

浅野 茂子

田の面を流りくる風夏に入る
振割の流れ緩りと花の雲

伊藤 敬子

山道に藤千本の房たれて
朝露をふくみし赤きつつじかな

池田 逸子

葉桜に歩幅延ばして日和かな
下総や朧にとける鳥の影

岡田 雅美

記念樹となりて満天星白き花
竊大樹躑躅の庭にありにけり

向後 寛

春蘭や侘びの心を墨書かな
つくし野に乙女の肌の袴剥く

佐瀬 輝夫

木洩日の踊子草の群がれり
片栗の花を見たくて遠くまで

鈴木 繁子

連休の一日目を割いて藤見にと
草餅を作らんものど野に出でて

若梅あやめ

山吹の散るや峠の地藏尊
会へばただ笑顔がありぬ五月晴

選者 鈴木 草庵

飛行機が寝ぐらに帰る鳥のやう
空港まではあともうわずか

八角 三枝

草を引く吾庭を一瞬驕らせて
頭上を飛行機よぎりゆきたり

秋葉 悦子

不況下に保てぬ老舗か米店も
シャツター閉ざし三月余過ぎぬ

真家ふじ子

山の宿にオカリナコンサート聞くと来て
早春賦のしらべ聞きはれみたり

鈴木 栄子

道路上のくるくる回る赤色灯に
違反せぬかとメーターを見つ

芹川 初子

昨夜の雨に白く湯気立つ庭辺の
山茶萼の蕾黄の色ふかむ

青木 秀子

お念仏の日の度に来る洋品屋
老らに取入り巧みに商ふ

吉岡 信子

観覧車は車椅子の人を乗せむとし
天使が乗ると告げて止りぬ

越川 教子

開け放つ精米所の土間に雀あて
無心にこぼれ啄みあたり

西山満里子

発芽率低しと聞きて玉蜀黍の
「未来」とふ種を三粒つつ落す

押尾 輝子

決断を迫られ術なく何回も
洗濯物をたたみ直せり

上総 晴子

ゴミ箱に「使用禁止」の蓋をされ
成田空港内のイラク戦争

島田ますみ

素足にて踏み行きたし青苔の
盛り上がりぬるその膨らみを

選者 斎藤つね子

短歌

梅林の香を愛てそぞろ行く中を
車で走り過ぐるもあたり

田崎 尚美